

お知らせ

# みんなで遊ぼう 軽スポーツ!!

日時

令和7年

11/22

土

時間 午前9時より

会場 結小学校体育館

参加賞や景品が  
もらえるよ♪

種目

ソフトバレーボール、モルック、輪なげ、  
ニチレクボール、バンブーダンス

対象者 結地区どなたでも参加可能

**参加無料**

参加方法 当日、会場にお越しください。

遊び方、ルールなどは役員がやさしく教えます♪  
ご家族そろって、遊びに来てください!!



主催：結小校区体育振興会

協力：安八町スポーツ推進委員会





# 地域安全

にゅーす

令和7年11月1日  
第 365 号  
大安地区防犯協会  
☎73-2220  
大 垣 警 察 署  
☎78-0110

大垣警察署HP



11月は

## 児童虐待防止推進月間

### ●身体的虐待



殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせるなど

### ●性的虐待



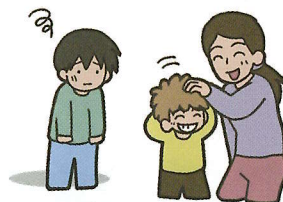
子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にする など

### ●ネグレクト



家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かないなど

### ●心理的虐待



言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう（面前DV） など

### こんなサインはありませんか？

#### 【子どもについて】

- ・いつも子どもの泣き叫ぶ声がある
- ・不自然な傷や打撲のあとがある
- ・衣服やからだがいっぱい汚れている

- ・表情が乏しい、活気がない
- ・夜遅くまで一人で遊んでいる



#### 【保護者について】

- ・いつも保護者の怒鳴り声がある
- ・小さい子どもを家においたまま外出している
- ・子どものけがについて不自然な説明をする

- ・地域などと交流が少なく孤立している
- ・子どもの養育に関して拒否的、無関心である

「虐待かも」と思ったら

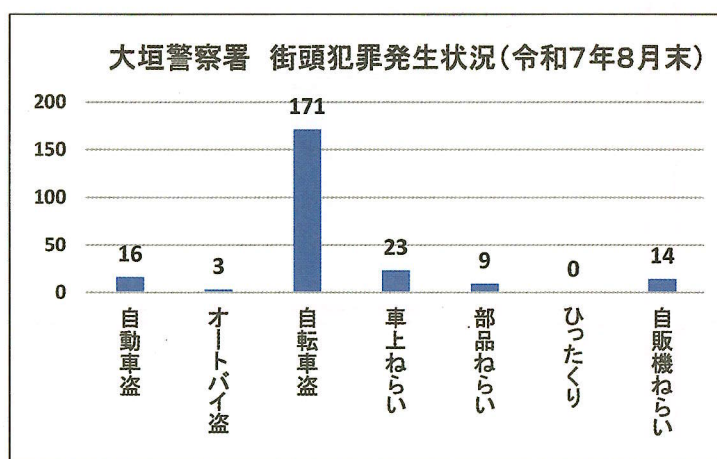
児童相談所虐待対応ダイヤル「<sup>いちはやく</sup>189」まで電話してください



# 身近な犯罪自転車盗

大垣警察署管内の街頭犯罪で最も多いのが、自転車盗難です。令和7年8月末時点で、171件（前年比＋9件）と増加しています。

なかでも、大垣駅周辺大型商業施設での盗難被害が特に多く、無造作に置かれている場所は盗難が発生しやすいため、駐輪する際は、必ず設備の整っている場所へ停めましょう。



## 自転車の防犯登録

購入や、譲り受けた場合などは自転車の防犯登録をしましょう。万が一、盗難の被害にあった場合、防犯登録があることで、早期発見や返還につながります。また、廃棄や売却、人に譲る場合は、次の人が登録できなくなってしまうため、抹消手続きを行ってください。

登録・抹消は大垣警察署でできます。

## 犯罪被害者に支援の手を

犯罪被害者などは、命を奪われる（家族を失う）、けがをする、物を盗まれるなどの直接的な被害だけでなく、

- ・ 事件にあったことによる精神的ショックや身体の不調
- ・ 医療費の負担や失職、転職などによる経済的困窮
- ・ 捜査や裁判の過程における精神的、時間的負担
- ・ 周囲の人々の無責任なうわさ話やマスコミの取材、報道によるストレス、不快感など、被害後に生じる様々な問題に苦しめられます。このような問題は総じて「二次的被害」といわれています。

周りの人たちは、このような犯罪被害者などの変調を理解して接し、犯罪被害者などを責めたり、無理に励ましたりすることなどは避けてください。

犯罪被害者などの心の傷の回復には、周囲の人々の理解と共感と支援がとても大切です。

### 岐阜県警察 犯罪被害者相談室

犯罪被害にあわれた方に寄り添い、突然襲ってきた悲しみなど誰にも話せない相談に応じています。ひとりで悩まず、ご相談ください。

☎0120-870-783 携帯の方は058-277-3783





**無料**

安八町

# 空き家等 相談会

11月20日(木)

9:00 ~ 16:00

安八町役場2階 中会議室

## 空き家のこと一緒に考えてみませんか？

空き家の売却・処分の方法について知りたい、空き家の適正管理の方法が知りたいなど、空き家についてのご相談は何でも構いません！

対 象

安八町内で空き家を所有している方

定 員

先着6名 (要予約)

締 切

2025年11月17日(月)





# おんせん朝市



会場 **ハートピア安八**

開催日時 **11月16日(日)**  
午前10時～12時

- ・駐車場は安八町役場またはハートピア安八をご利用ください。
  - ・路上駐車はご遠慮ください。
- 11月2日(日) 安八温泉での朝市開催は中止

100食限定

**ほうれん草うどん**  
**無料配布**



**主催** おんせん朝市組合

**お問い合わせ**

安八町役場 農政課  
TEL.0584-64-7113(直通)



東安中学校校区 地域の皆様へ

## 東安中学校生徒会企画 『東安地区魅力発見ウォークラリー』のお知らせ

いつも私たち東安中学生のことを見守っていただき、ありがとうございます。

東安中学校生徒会では、令和2年度より、ふるさと学習の一環として学校行事『東安地区魅力発見ウォークラリー』を行っています。

本年度も、学校運営協議会やPTA、地域の皆様のご協力をいただき、11月21日(金)に実施します。今年度は「産業」をテーマとして、農家やお店、事業所、公共施設などの18箇所をチェックポイントにさせていただき、それぞれの産業の特徴やそこで働く方々の思い等を味わうことを通して、校区の魅力を発見します。

4～5人の班ごとに分かれ、自分たちで計画したルートに従って各チェックポイントを移動していきます。交通ルールや公共の場所でのマナー等についても十分に気を付けて行いますが、何か気付かれたことがありましたら、学校までご連絡ください。また、私たち生徒の姿を見かけたら、声をかけていただけると地域の方とのふれあいもでき、ありがたいと思います。

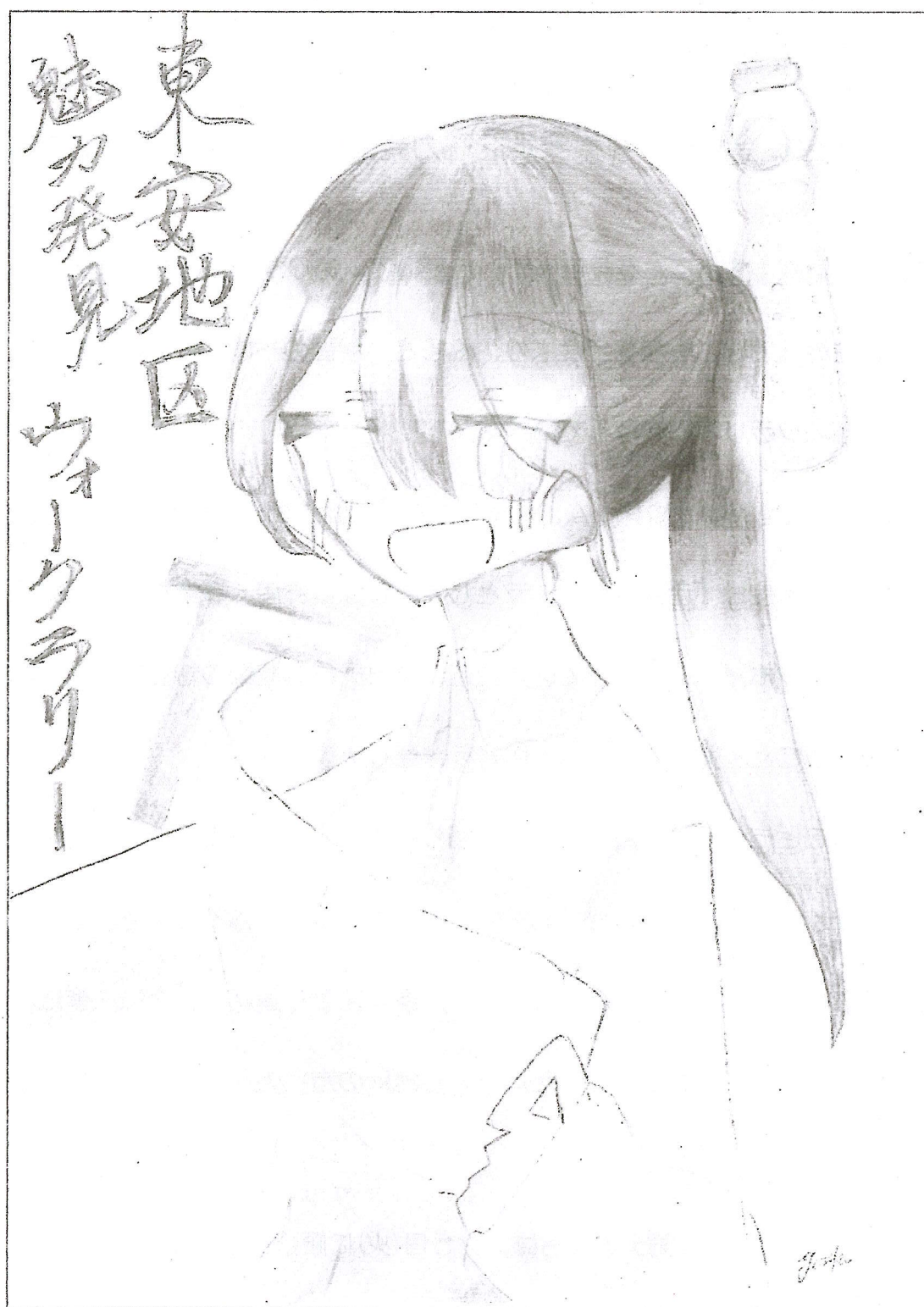
なお、11月21日(金)が雨天の場合は、25日(火)に順延いたします。

どうか、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

東安中学校生徒会

0584-62-5408





日時：令和7年11月21日（金）8：40～11：55 雨天時25日（火）に延期

場所：東安中学校区

今年度のテーマ：『産業』

協力：・むすぶまちづくり協議会  
・結区長会  
・結神社総代会  
・安八町交通安全協会

・ふるさと大垣案内の会墨俣支部  
・いき粋墨俣創生プロジェクト  
・大安地区交通安全協会墨俣支部

大垣市・安八郡安八町組合立東安中学校





## 耐震改修の必要性とは？

地震による死因の多くは、建物の倒壊によるものです。

地震の多い日本では、いつどこで大きな地震が起きてもおかしくありません。

地震に備えて安心して住める建物にしておくことが大切です。まずは、簡単なセルフチェックをしてみましょう。

お住まいの建物が安全かどうか、専門家による耐震診断を受けることが必要です。



### 専門家による耐震診断とは？

専門の調査員が建物の構造や基礎などを調べ、現在の耐震基準と比較して、建物がどの程度地震に強いかを数値で評価します。診断結果に基づき、必要であれば耐震改修工事を検討しましょう。

セルフチェックはこちらから

日本建築防災協会「誰でもできるわが家の耐震診断」

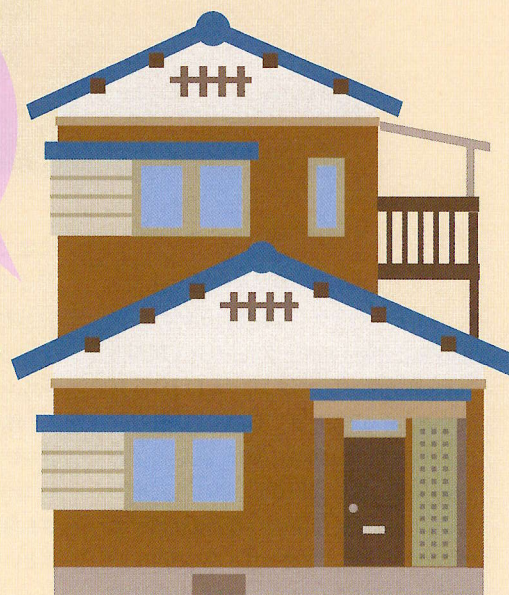
質問に答えていくことでお住まいの建物について、地震に対する強さ、弱さのポイントがどこにあるかなどがわかるようになっています。



## 改修にはどんな方法があるの？

### 壁を強くする

筋かいや構造用合板で補強された壁を増やしましょう。また、壁の量を東西南北に均等配置することも大切です。



### 家を軽くする

屋根や外壁を軽くすることで、建物に作用する地震の力が減るので、大地震時に壊れにくくなります。

### 接合部を強くする

土台・柱・筋かい・はりなどの接合部は、専用の金物などを使って、それぞれの部材が一体となるよう緊結しましょう。

### 基礎を強くする

基礎にひび割れがある場合は、原因を除去した上で補強しましょう。



## 耐震診断・改修、補助金の相談は地方公共団体の窓口へ

住宅リフォーム支援制度検索サイトはこちら



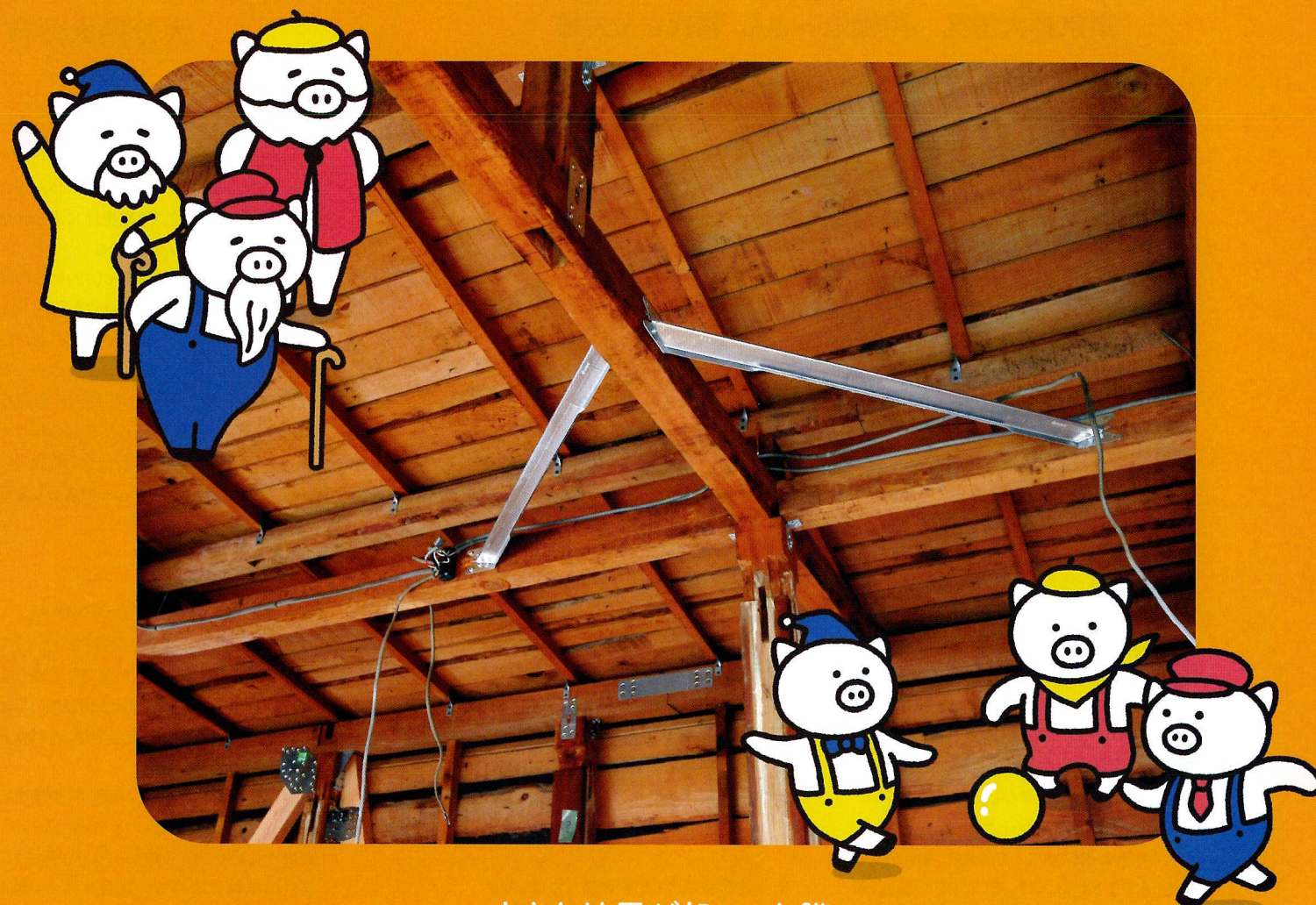
国や地方公共団体では、地震から大切な命と地域を守るために、建物の耐震化を推進しています。耐震診断や改修については各地方公共団体に相談窓口があり、手順や業者の選定などのアドバイスを受けることができます。まずは、住宅リフォーム推進協議会の住宅リフォーム支援制度検索サイトからお住まいの地域と内容を検索してください。

最新の情報や詳細についてはお住まいの地域の相談窓口にお問い合わせください。



大切な家族を守るため、家への備えは万全ですか？

# 今こそ考えたい 耐震診断・耐震改修



大きな地震が起こった際

あなたの家はあなたと家族を守ってくれる家ですか？

家の倒壊によって失われるのは物理的なモノだけではありません。

過ごしてきた大切な時間や思い出の詰まった家が

家族を傷つけたり、避難路の妨げとなったりしないよう

耐震改修で大切な家を守りましょう。

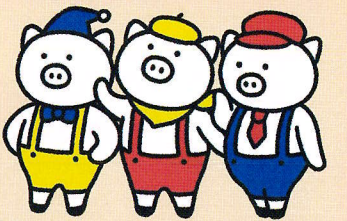






# 気がかりを安心へ。耐震改修で守れること

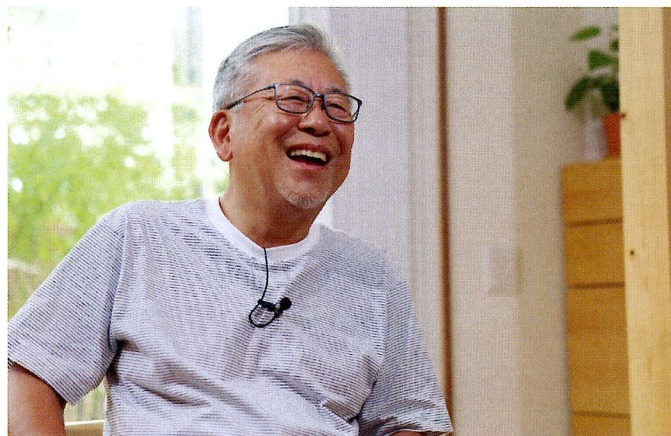
実際に家の耐震改修をした方々にインタビューし、リフォーム後の安心感や住み心地についてエピソードを伺いました。



## インタビュー①

### 「子や孫たちとも安心してだんらんを」 リタイア夫婦の2人暮らしを支える家

東京都大田区 阿保浩一さん、雅代さん夫婦



#### ■安心感と開放感と

「1階にいても月が見えるってのが気持ちいいんです」

東京都大田区の阿保浩一さん(70)は満足げだ。近隣の距離が近い住宅密集地に立つ木造2階建て。だが、2階の床を2畳分ほどくりぬいた吹き抜けから、空が望める。

1970年頃に両親が建てた実家を改修し、2023年末から妻雅代さん(68)と暮らし始めた。6畳や4畳半など細かく区切っていた壁をできるだけ減らした。

「年をとっていくことを考えて、動きやすく生活できるように。そして、安心感。自分と妻、何より遊びに来る孫たちの命を守るためです」

#### ■地震は「いずれ、いつか」

以前から、両親が亡くなった後の実家に手を入れて暮らそうと考えていた。幼なじみで地元工務店を経営する一級建築士、望月陽さん(70)に相談すると、自治体の助成を活用した耐震改修を勧められた。耐震診断では大規模地震で「倒壊する可能性が高い」との結果だった。

阿保さんに被災経験はないものの、「もう少し備えておけば良かった」と言う被災者の後悔が報じられるたび、胸を打たれた。特に2011年の東日本大震災以降は、

水や非常食などを常備し、定期的に入れ替えている。首都直下地震が切迫する状況に、「地震はいずれ、いつかは起きる」との考えだ。

リフォーム代の他、耐震改修には約330万円かかった。内壁を減らした分、外壁を厚くしたり、屋根を軽くしたり。「安く済ますんだったら、台所や水回りだけという手もあるけど、安心して暮らせないと意味がない」と振り返る。

#### ■妻と年老いても

年に数回訪ねてくる子や孫たちは、2階のフリースペースに布団を敷いて寝る。キャンプ用のテーブルを囲んで食事をし、孫はデッキでプール遊び。どこにいても声が届く、家族のだんらんがそこにはある。

夫婦2人の暮らしに合わせた造りにもこだわった。段差を減らし、トイレや脱衣所は区切らない。リビングでも寝られ、回遊できる。「若い頃には考えもしなかった造りだけど、すごく使いやすい」

1階居室には今、実家で使っていた仏壇が昔と同じ場所にある。あめ色に染まったヒノキの柱や、家紋入りの透かし彫りの欄間もそのまま。飾られた祖父母や両親の写真は、夫婦の元を訪れる子や孫たちの様子を見守っているようだ。

(※年齢や肩書などは2025年7月7日の取材時点のものです)

## インタビュー②

### きしむ自宅に揺れる茶わん 90歳を超えて耐震改修で得た静けさ

大分県大分市 大久保安喜さん

#### ■ずっと気になっていた家のきしみ

もう10年以上前からだろうか。気づくと、ふすまは滑りが悪くなり、ドアも開けにくくなっていた。地震のたび、棚の茶わんがカチャカチャと音を立て、家全体にきしみが響く。「この家はもたんだらうな…」

大分市の大久保安喜さん(92)は日向灘を震源とする地震が起きるたび、「早く何とかせんと」と古くなってきた自宅のことが気がかりだった。地震の際にシェルターになる「耐震ベッド」の資料を取り寄せ、耐震診断・改修の業者に連絡したのは3年ほど前。1973年に建てた木造一部2階建ての自宅で、妻寿美(すみ)さんとの暮らしを守りたい一心だった。

#### ■妻に先立たれても

それから状況はめまぐるしく変わった。寿美さんがまもなく脳梗塞(こうそく)で入院。帰宅することなく、昨年3月に帰らぬ人となった。享年92歳。ずっと待っていた耐震改修の順番が回ってきたのは、それから半年近く経ってから。

耐震診断の結果は、大地震で「倒壊する可能性が高い」。予想していた通りだった。業者からいくつかの改修プランが示され、自分の年齢や手持ちの資金を考えて最も手頃な総額180万円の計画(うち補助金

60万円)を選択。8カ所の内壁や柱を補強するなどの計画で、危険度を少しでも和らげたいという段階的改修の位置づけだ。

実はこの頃、次女夫婦は独り身となった大久保さんを気にかけて、自宅を売却して実家で同居しようと考えていた。

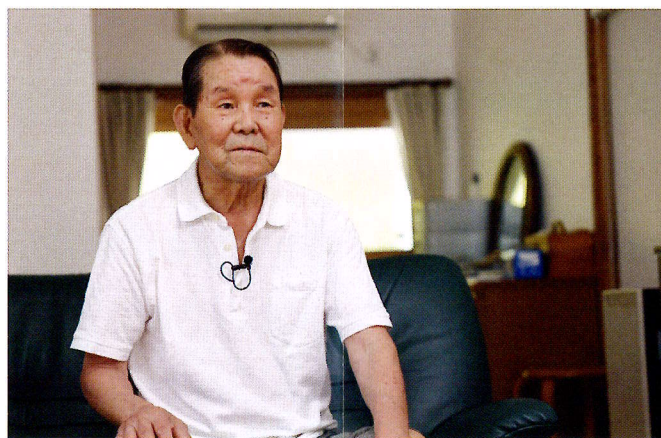
改修工事に合わせ、娘夫婦はタンスを並べていた納戸をリフォーム。12畳ほどの居室を整えた。洗面所とトイレの段差解消に動線の改良、窓の断熱工事なども終え、3人暮らしが始まった。張り替えたクロスの白さだろうか、家が明るくなった感じがした。

#### ■静かな夜に

その後も市内で震度4を観測する地震があったが、大久保さんは「確かに音がしない。きしみが聞こえない」。地震の揺れを感じることもなく、ベッドにいても安心して寝ていられるのだという。

地元は南海トラフ巨大地震の被害が想定される地域でもある。高齢であっても改修を望んだのは、「自分が建てた家をできるだけ残したい」というこだわりがあったからだけでなかった。「いつまで健康でいられるか分からないけど、地震で命を落とすのはちょっと納得がいかないからねえ」

(※年齢や肩書などは2025年7月30日の取材時点のものです)



## インタビュー③

### 「地震後も住み続けられる家を」 30代子育て夫婦が意識を変えたのは

高知県香南市 田村寛之さん、友里香さん家族



#### ■子ども3人が思い思いに

長男の湊太郎君(6)がテーブルの下でカードゲームのファイルを眺めるそばで、次男の慎之介君(4)がトランポリンで跳ねている。長女渚紗(なぎさ)ちゃん(1)はお昼寝中だ。幼い3人を育てるのは、高知県香南市の田村寛之さん(35)、友里香さん(36)夫婦。以前は約10キロ西の高知市内に住んでいたが、5年前に木造2階建ての中古物件を購入して移り住んだ。高台に立つ自宅の居間からは約5キロ先の太平洋が見え、風も通る。「オーシャンビューでしょ」。寛之さんは冗談めかして言う。

#### ■津波の来ない場所を選んだのに

ゆかりのない場所に移り住んだのには訳がある。

「大前提だった」と夫婦が口をそろえるのが、南海トラフ巨大地震で津波に襲われないこと。以前住んでいたアパートは津波の浸水想定エリア内。戸建ての立つ高台は標高50メートル近いところにあることが決め手になった。

2011年の東日本大震災が意識を変えた。寛之さんは津波の映像をテレビで見て「同じ日本とは思えなかった」、友里香さんは「津波が来たら山に逃げなきゃと考えるようになった」と言う。購入したのは1979年

に建てられた旧耐震基準の家だ。購入の際にリフォームはしたが、住み始めた後、無料の耐震診断のチラシを見て試みに頼んでみると、結果は「倒壊する可能性が高い」。ショックだった。

「地震が起きたら子どもたちを守らなきゃいけないのに、緊急地震速報の音でパニックになったことがあって…」友里香さんは安心して家で寝られないと強く感じたという。

#### ■改修直前に南海トラフの臨時情報

業者が出した二つの補強プランでは満足できず、「震度7クラスの地震が来ても、住み続けられる家に」と求めた。2024年8月に南海トラフの臨時情報が出たのは、改修工事が始まるのを待っている時だった。

その2カ月後、台所の勝手口や風呂のドアをふさいで壁にするなど数十カ所を補強。かかった費用は総額約300万円(うち補助金165万円)だった。

ただ、おかげで「地震が落ち着くまで家におれる余裕ができました」と夫婦は言う。最近では中古物件に関心を寄せる若い世代が増えている。寛之さんは言う。「中古物件を貰うのであれば耐震改修はマスト。すぐに地震が来て倒れたら、後悔する。やった方が良い、絶対に」。

(※年齢や肩書などは2025年8月17日の取材時点のものです)